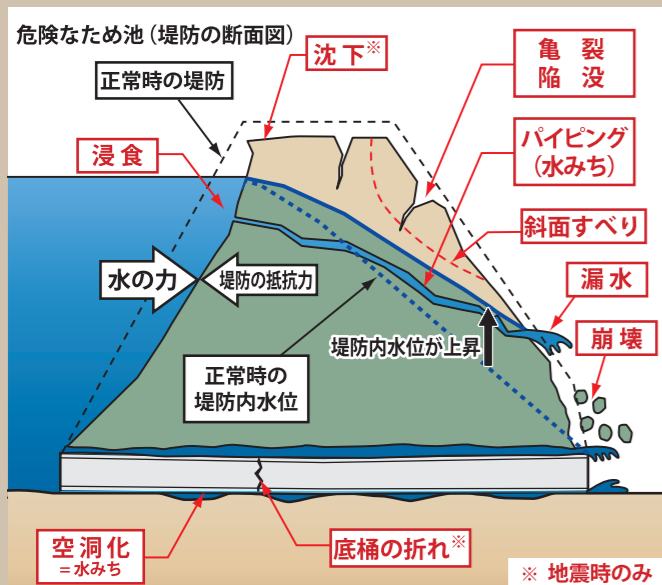


こんなときは注意しましょう

ため池の決壊は、大雨や地震によって発生する可能性があります。そのため、以下に示すような堤防の状態や気象情報・防災情報に注意し、身の危険を感じたら、早めに避難を行きましょう。

大雨・地震時

大雨時や地震発生後に、ため池の堤防に変形や漏水が確認できたら、要注意です。



情報収集先

大雨や地震発生時は、気象情報や防災情報を確認しましょう。

● **パソコンや携帯で確認!**

おおさか防災ネット 大阪府河川防災情報

府内の防災関連情報や関連サイトなど 携帯サイト 府内各地の雨量、河川水位、港湾潮位など

● **電話で確認!**

高槻市内の時間雨量を電話で知ることが出来ます! **072-672-0074**

(自動電話応答通話装置が、音声でお知らせ)

● **テレビで確認!**

災害時に行政が発信する防災情報を、地上デジタル放送テレビのデータ放送を通じて、いち早く住民に伝えるシステムが運用されています。リモコンのdボタン(データ放送)を押してください。

防災情報メールに登録しましょう

おおさか防災ネットでは、事前登録を行うと防災情報がメールで配信されます。

登録方法

touroku@osaka-bousai.net に空メールを送り登録

※QRコードを携帯電話で読み込んでメールを送信することも可能です

ため池の異常に気付いたら



関係機関連絡先

高槻市役所	072-674-7111
高槻市消防本部	072-676-0119
高槻警察署	072-672-1234
大阪府北部農と緑の総合事務所	072-627-1121
西日本電信電話株式会社 (電話の故障・電話線の異常など)	113
関西電力株式会社 高槻営業所 (停電や急ぎの用件など)	0800-777-8018
大阪ガス株式会社 北東部導管部 (ガスもれ通報専用電話)	0120-5-19424

防災メモ

避難するときに、声をかける人などを記入しておきましょう。

名前	会社・学校の連絡先	電話番号・メールアドレス

非常持出品 (準備ができたなら□にチェック☑を入れます)

- 避難時に持ち出す必要最低限のものをまとめ、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。
- ※重さは成人男子で 15kg、女子で 10kg 程度までを目安とし、避難時に両手が使えるようリュックサックタイプのものを使用しましょう。
- 貴重品
 - 懐中電灯
 - 携帯ラジオ
 - 応急医薬品
 - ハザードマップ
 - 非常用食品・水
 - 火を通さずに食べられるもの (カンパンや缶詰など)
 - ミネラルウォーター
 - レトルトのおかず
 - 離乳食・粉ミルクなど
 - 生活用品
 - 衣類、タオル
 - おむつなどの衛生用品 (ティッシュペーパー・洗面用具・生理用品など)
 - その他(軍手・ライター・缶切り・栓抜きなど)

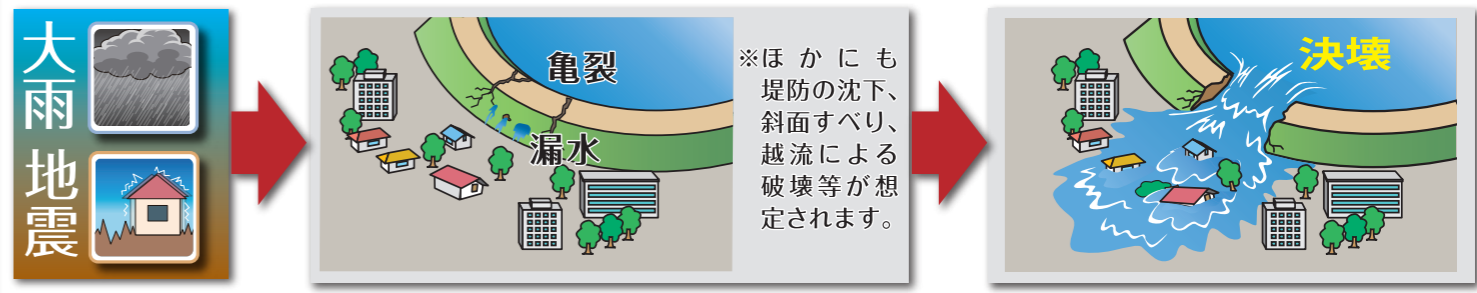


ため池は、農業用水として活用されるほか、大雨時に一旦水を貯めたり、様々な生物を育む貴重な水辺空間でもあります。

このマップは、大雨や大規模な地震によって、西池の堤防が決壊した場合に、どの程度の浸水被害が発生するのかを示したものです。いざという時に備えて、家族や地域で、日頃からの備えや避難について考えましょう。

【注意】ハザードマップの浸水想定区域は、シミュレーション上の最大被害を想定したものです。マップ面の「地図を見る上での留意事項」をご覧ください。

ため池の決壊メカニズム



大雨 兵庫県

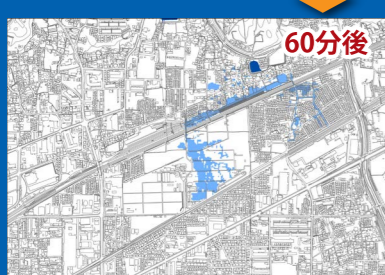
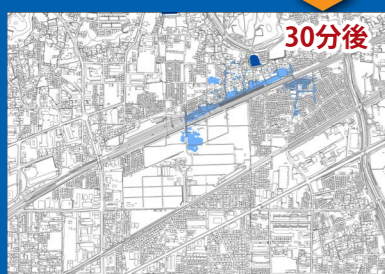
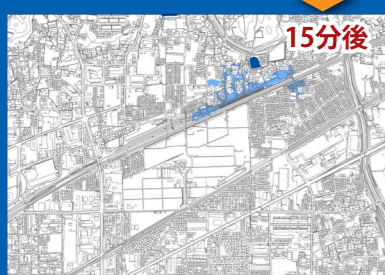
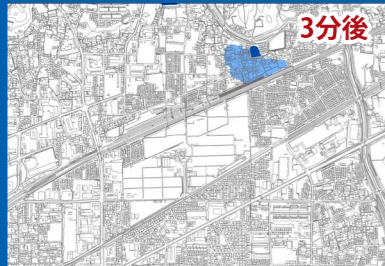
平成16年の台風23号では、大雨により、兵庫県の淡路島で約1,300か所のため池が被災し、約180か所のため池が決壊しました。同県洲本市では、ため池決壊による河川増水により2名の犠牲者が出る被害となりました。

地震 福島県

平成23年3月11日の東日本大震災では、地震により、福島県内では約750か所のため池が被災しました。また、同県須賀川市で藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者8名の犠牲者が出る被害となりました。

ため池が決壊したら

地図上の浸水深は各箇所での最大値を示しています。決壊したら、ため池の水は時間ごとに地盤が高い所から低い所へ移動します。(下図参照)



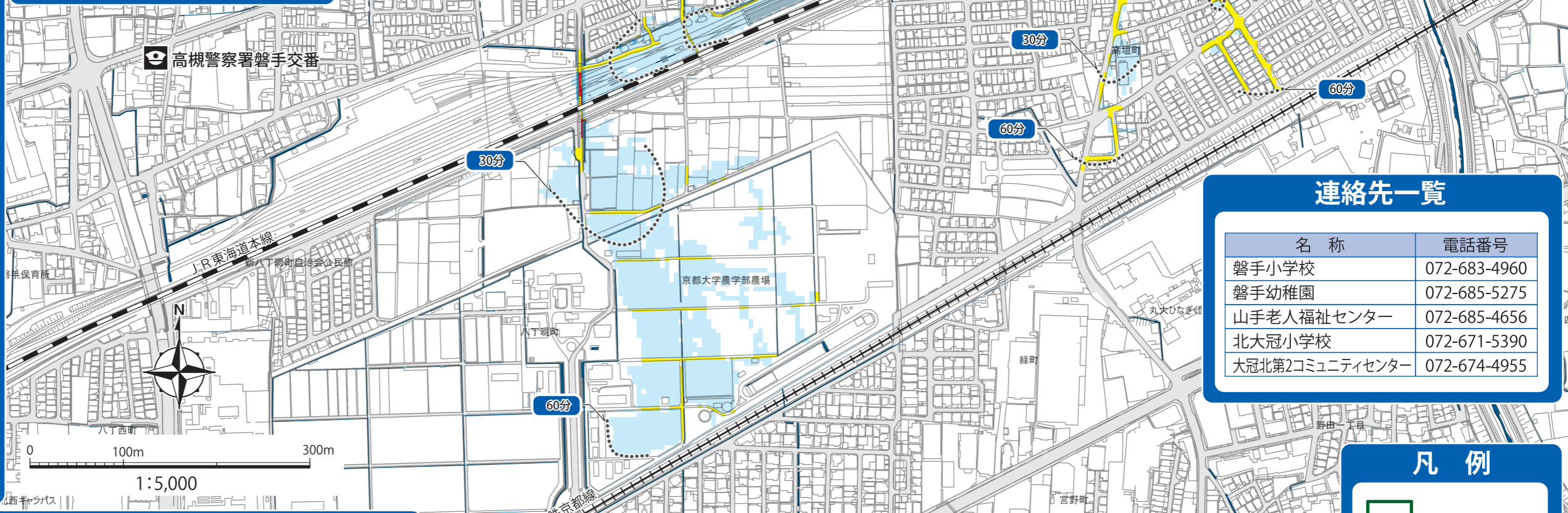
地図を見る上での留意事項

※ここに示した浸水想定区域は、最大被害を把握するため、ため池の水位が上昇した状態で、堤防基部まで一気に決壊した場合を想定し、浸水シミュレーションを行ったものです。

※浸水シミュレーションは平均化された地盤で行っているため、小水路などの局所的な地形を計算に反映できていない場合があります。そのため、実際の浸水範囲や浸水深と異なる場合があります。

※河川氾濫や下水道などがあふれる内水氾濫、その他の災害は考慮していません。

※想定を超える事態や不測の事態が起こった場合、地図上に示した以外の範囲においても浸水被害が発生する可能性があります。



連絡先一覧

名称	電話番号
磐手小学校	072-683-4960
磐手幼稚園	072-685-5275
山手老人福祉センター	072-685-4656
北大冠小学校	072-671-5390
大冠北第2コミュニティセンター	072-674-4955

凡例

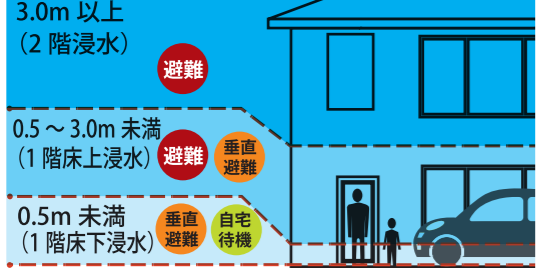
- 避難所
- 消防
- 警察
- 道路
- 水部
- 決壊地点
- ※氾濫計算において仮設定したもので、必ずしもこの地点が決壊するわけではありません。
- 浸水する時間の目安

地図の見方①

居住地における浸水深と避難行動の目安

ため池決壊によって想定される浸水範囲(浸水想定区域)及び浸水深を、青系の色で地図上に示しています。居住地における浸水深を確認し、とるべき避難行動の目安を知っておきましょう。

浸水深と避難行動の目安 ※2階建て戸建住宅の場合



- 避難** ため池が決壊する前に、早めに自宅以外の安全な場所へ事前避難を!
- 垂直避難** 状況に応じて、建物の高層階に垂直避難を!
- 自宅待機** 無暗な移動はかえって危険。情報収集に努め、状況に応じて浸水対策を!

地図の見方② 浸水想定区域内の道路における歩行困難度

浸水想定区域内の道路については、浸水深と水の速さから歩行の困難度を計算し、赤・黄色で地図上に示しています。屋外を移動して避難する場合は、歩行の困難度に注意してください。

※避難の際は、河川や水路などの危険な場所には近寄らないなど、ため池の決壊以外の災害にも注意してください。

水深 (m): 0, 0.5, 1.0, 1.5
流速 (m/S): 0, 0.5, 1.5

歩行は困難 (Red)
歩行には注意が必要 (Yellow)

なお、屋外を移動しての避難は、浸水が始まる前が基本です。浸水し始めたら無理をせず、周囲の高い建物への垂直避難を考えてください。